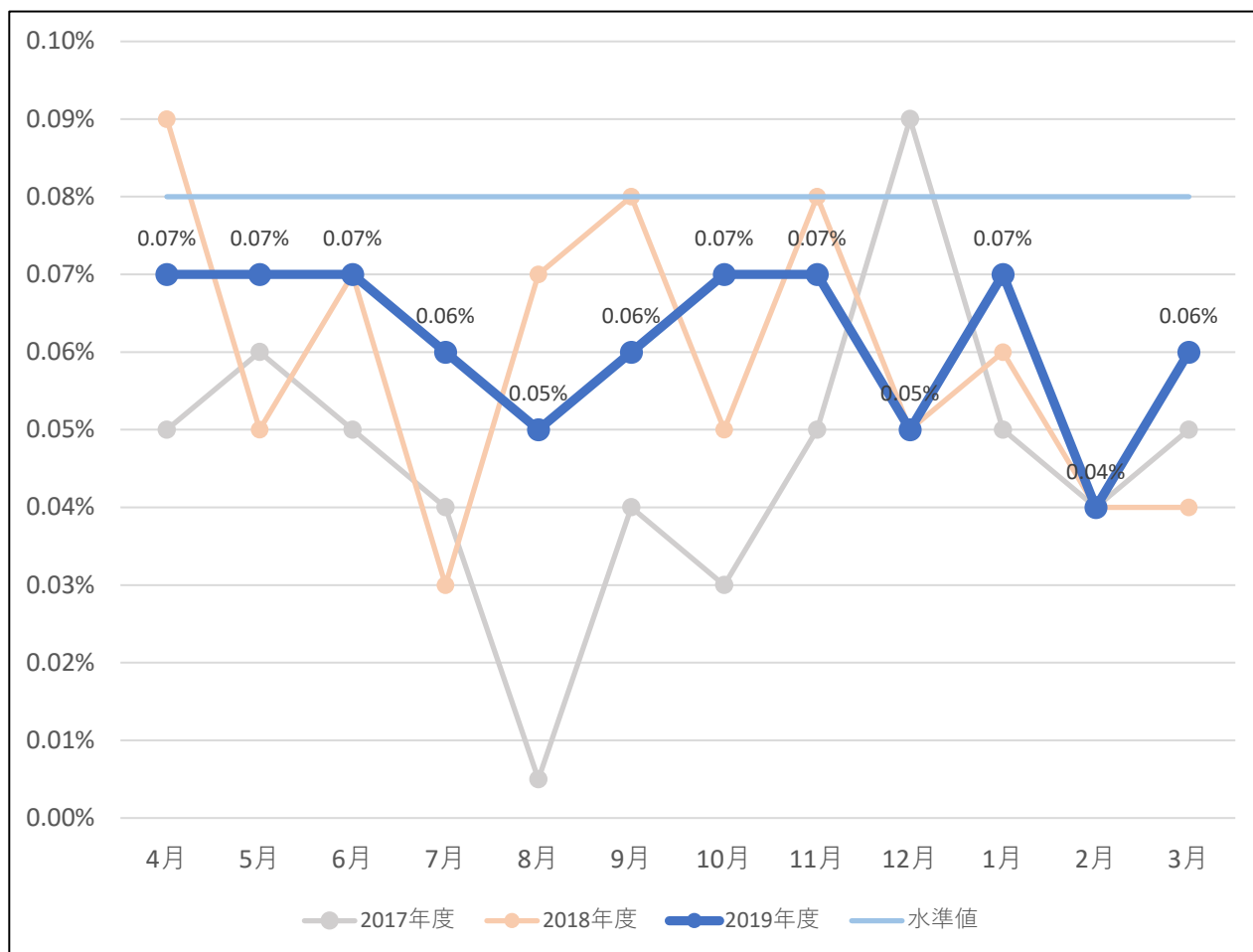


6.褥瘡発生率



分子	調査機関における分母のうち、深さd2 ^{注1} 以上の褥瘡の院内新規発生患者数
分母	入院延べ患者数
水準値	0.08% (2018年度QIプロジェクト参加施設の平均値)
説明・考察	<p>[指標の意義]</p> <p>褥瘡発生率は看護ケアの質を評価する重要な指標のひとつです。褥瘡は患者のQOLの低下や感染症の発生など、患者の転帰に大きな影響を及ぼすだけでなく、入院期間の長期化や医療資源の追加投入など医療費の増大にもつながります。</p> <p>(注1) 深さd2：真皮までの損傷</p> <p>[考察]</p> <p>院内では褥瘡管理室及び褥瘡対策チームを中心に病棟の看護師と情報共有して、患者さんの褥瘡発生防止に努めています。2019年度は年間通じて水準値より低い発生率となっています。</p>